

# 支援だより

第3号



県立金沢養護学校 連携・支援グループ 地域支援チーム

令和4年12月

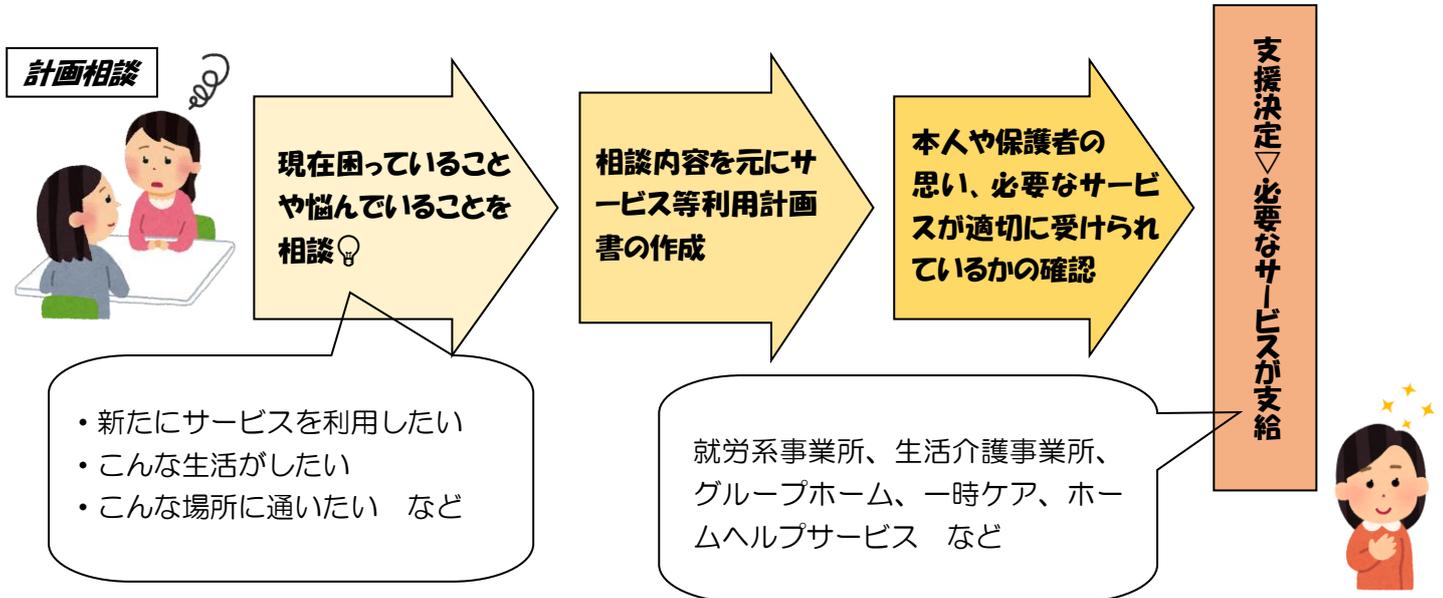
早いものでもう師走。2学期も締めくくりの時期を迎えました。今回の支援だよりでは、「計画相談支援」についてと「学校支援ボランティア」の2本立てでお送りします。

## 計画相談支援とは？

今まで耳にしたことはあるけれど、これはいったいなんのこと？と思われがちな「計画相談支援」についてご紹介します。

すでにご利用の方もいらっしゃると思いますが、在学中の今は特に福祉サービスは使っていないという方も、高等部卒業後の進路先によっては「サービス等利用計画書」を役所に提出する必要があるのを知っておくとよいです。

この「サービス等利用計画書」は①「計画相談支援員に依頼」して作成するか、②ご本人自身が利用曜日や時間の調整をして作成するか、のどちらかの方法での作成になります。多くの方が①を選ばれて、利用希望者とともにこの利用計画を作成してくれる「特定指定相談支援事業所」を活用されるようです。この事業所のリストは行政のホームページに載っていますのでご覧ください。



## つばやき

2学期の高等部B部門の校内実習で、ベルマークの仕分け作業を行うグループがありました。その際、皆さまからお寄せいただいたベルマークの中に「金沢養護学校OBの保護者です」と書かれたメモと、ぎっしりとベルマークの入った包みがありました。卒業後も金沢養護学校のことを思ってくださっている方がいることに胸が熱くなりました。また、ご協力いただいたすべての方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後ともご協力よろしくお願いいたします！



# 学校支援ボランティアについて知っていますか？

金沢養護学校では、現在、教員を目指して勉強をしている大学生や卒業生の保護者の方々がボランティア登録をしてくれています。子どもたちの学習活動や給食の配膳等の日々のサポートに感謝の気持ちでいっぱいです！  
※今回は登録いただいているボランティアさんを代表し、4名の方にお話しを伺いました。

## ボランティアさんにインタビュー

### 学習ボランティアさん

毎週月曜日、朝の登校時から下校まで  
小学部B部門2年生のクラスに入っています！

#### ボランティアを始めたきっかけは？

昨年、介護体験実習をさせて頂いた時、ボランティアをしませんかと声をかけてもらい、活動を始めました。(内藤さん) 教員免許状を持っていて、特別支援学校で仕事をしてみたいと思っていました。金沢養護学校のボランティア求人ポスターを見たことがきっかけで応募しました。(飯島さん)



飯島さん

#### やりがいを感じたことは？

週に1度のボランティアですが、朝のお迎えのときに子どもたちが自分のことを覚えていて、声をかけてくれたときに嬉しさを感じます。子どもたちと色々な活動をする中で学ぶことも多く、充実した時間を過ごすことができます。



内藤さん

### 読者の方へメッセージ

ボランティアを始めて、自分の価値観が大きく変わり、視野が広がったと感じています。特別支援学校に通う子どもたちと出会い、学校以外の場所でも自分にできることは何かないか考えるようになりました。子どもと接する機会を得て、障害のある人への心の隔たりがなくなったように思います。接し方も深く考えるようになりました。

### 給食ボランティアさん(卒業生の保護者さん)

11:15~13:15の時間帯で  
給食の配膳、下膳のお仕事をしています

#### ボランティアを始めたきっかけは？

もともと自分の子どもが卒業しても、卒業生保護者OBとして学校とつながれる手段はないかな~と思っていました。そんなタイミングで給食ボランティアのお話をいただき、学校のお役に立てればとの思いで活動が始まりました。

#### ボランティアをされていてよかったことは？

今までは保護者目線で学校の様子を見ていましたが、ボランティアと言う立場で先生方と一緒に仕事をさせていただき、今までとは違った目線で学校の様子を見ることができています。コロナ禍、先生方のご苦労を感じます。配膳・下膳時に先生方は段取りよく、手際よく動かれていてチームワークの良さを感じます。また、私たちにもわかりやすく指示を出してくれます。こういったことが日頃の児童生徒の支援に活かされていると感じます。



### 読者の方へメッセージ

今後コロナの状況が落ち着いてきたら、給食ボランティアだけではなく卒業生の保護者OBとして金沢養護学校と繋がる機会ができればよいと感じています。

